

しもすわフォトストーリー まちの話題を写真でご紹介します。



8/22 (土) きれいな諏訪湖に 第39回諏訪湖クリーン祭

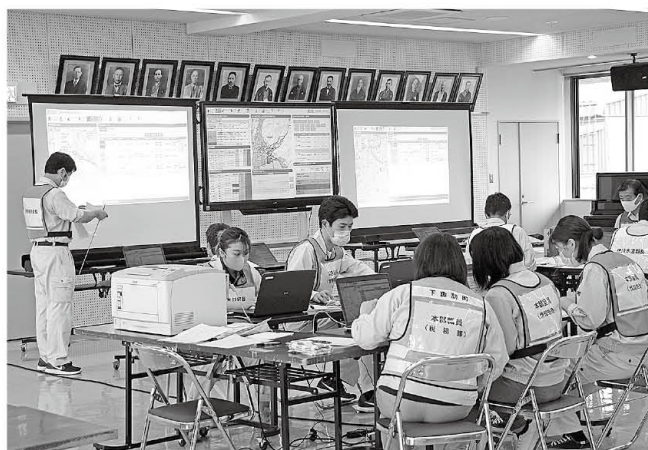
第39回諏訪湖クリーン祭では、「諏訪湖クリーン大作戦」と題した湖岸清掃活動が行われました。

今年は新型コロナウイルス感染防止のため、例年の体験イベントや展示等は行われませんでした。約350人が活動に参加しました。ごみを種類別に分類記入する「ごみ調査」では、場所によって落ちているごみの種類や量が違うということに気づく子どもの姿もみられました。

8/30 (日) 町総合防災訓練

水害や地震を想定し行われた町の総合防災訓練が、町庁舎と各地区の公会所等で行われ、町内全域で約4,300人が訓練に参加しました。

また、町内防災士による「防災ネットワークしもすわ」が主体となる「避難所開設訓練」が各区で始まりました。訓練では、避難所開設キットを使い、災害時の初動や避難所の運営について確認し、感染症が蔓延する状況下での特殊な事例についても知恵を出し合い、今後の課題や改善策について話し合いました。



9/5 (土) 「星ヶ塔遺跡」発見100周年企画展

町の東俣国有林内の国史跡「星ヶ塔遺跡」発見100周年を記念した企画展が「星ヶ塔ミュージアム 矢の根や」で始まるにあたり、初日の5日(土)はオープニングセレモニーが行われました。

企画展では、5,000年ぶりに里帰りしてきたという、縄文時代に諏訪地域の縄文人が作り、後に青森県三内丸山遺跡で発見された黒曜石をはじめ、土器や当時の様子が伺える資料等が数多く展示されました。

来場した人たちは歴史と町の宝に触れる貴重な機会を楽しみました。



9/20 (日) 「星ヶ塔遺跡」発見100周年 記念トークショー

「星ヶ塔遺跡」発見100周年の記念事業となる記念トークショーが下諏訪総合文化センターで開催されました。

遺跡を発見した徳島県出身の考古学者、鳥居龍蔵(1870-1953年)の足跡を伝える講演や、遺跡発見に至るまでの経緯、黒曜石の魅力についてのディスカッション等、訪れた人はメモをとりながら耳を傾けていました。

◆星ヶ塔遺跡…縄文時代の流通や社会の在り方等を解明する上で極めて重要な遺跡として位置づけられ、2015年3月に国史跡に指定されました。

